

錦絵 真田父子上田籠城図（上田市立博物館所蔵）



『新選太閤記』の一場面。左にたつ信繁(幸村)と昌幸(中央)の後ろに穴山小助と海野六郎がひかえている。

上田城 略年表

天文10年(1541)	「海野野の合戦」に敗れた真田幸隆は、上田の地を追われる。
天文16年(1547)	幸隆の三男・昌幸が誕生。
天文20年(1551)	幸隆、砥石城を攻略し、再び上田の地へ。
天正 3年(1575)	「長篠の戦い」で二人の兄が戦死。昌幸が真田家を継ぐ。
天正11年(1583)	昌幸、上田城を築城。
天正13年(1585)	第一次上田合戦。
慶長 5年(1600)	第二次上田合戦。 「関ヶ原の合戦」後、上田城が徳川方に接収される。
慶長 6年(1601)	徳川軍により上田城破却。 その後、昌幸の長男・信之に上田領が引き渡される。
元和 8年(1622)	信之、松代へ移封。小諸より仙石忠政入封。
寛永 3年(1626)	忠政、上田城修築工事に着手。
宝永 3年(1706)	仙石政明、但馬国(兵庫県)出石の松平忠周と所領交代となる。
明治 4年(1871)	廃藩後、国に接収され東京鎮台第二分営の管理下となる。
明治 7年(1874)	前年の分営廃止に伴い、上田城が民間に払い下げとなり廃城。
明治11年(1878)	櫓2基が太郎山麓の上田遊廓に移建される。
明治13年(1880)	本丸跡を公園にしよとの声が起こる。
明治29年(1896)	公園として体裁が整う。
昭和 4年(1929)	本丸に残っていた西櫓を徴古館(博物館)として一般公開。
昭和 9年(1934)	本丸と二の丸が国の史跡に指定される。
昭和17年(1942)	上田城趾保存会により櫓2基が買い戻される。
昭和24年(1949)	南櫓、北櫓が落成。
昭和34年(1959)	本丸の櫓3基が県宝に指定される。
昭和56年(1981)	櫓3基の修復工事が始まる (1987年に完了)。 二の丸堀跡にけやき並木遊歩道が完成。
平成 6年(1994)	本丸東虎口櫓門の復元。



払い下げが進む本丸東虎口(明治11年頃と推定)



六連銭旗（上田市立博物館所蔵）

第一次上田合戦

天正13年(1585)8月、7000人余の徳川軍が上田城へと攻め入った。昌幸が沼田領引渡しを拒否し、家康と断交したためである。対する真田軍は2000人足らず。しかし昌幸は巧みな戦術で徳川軍を撃退してしまう。神川合戦ともよばれるこの戦いが、真田氏と上田城の名を天下に広く知らしめた。

第二次上田合戦

昌幸父子が相分かれて戦うことになった関ヶ原合戦の前哨戦。慶長5年(1600)9月、西軍(石田方)についた昌幸と信繁(幸村)は上田城にたてこもり、中仙道を西進する徳川秀忠軍と戦った。3万8000人の徳川軍に対し、真田軍はわずかに2500人。軍事力の差をものともせず、またしても徳川軍に大きな損害を与えた。

上田城跡公園を楽しく散策

園内には、実は見どころが盛りだくさん。
ゆっくりと散策をお楽しみください。



上田泥流層(上)と河床礫層
尼ヶ淵の要害をつくる特徴的な地層です。



眞田神社下の算木積み
崖面に古い算木積みを用いた石垣が埋まっています。なぜここに石垣が積まれたのかは上田城の謎のひとつ。



堀石垣の水抜き穴(尼ヶ淵側)
石垣に謎の穴が…。現在は空堀ですが、かつては水堀だったのかもしれませんが。



二の丸堀のブラットホーム跡
昭和2年から同47年までけやき並木遊歩道には電車が通っていました。二の丸橋の下には公園前駅(旧公会堂下駅)がありました。



二の丸橋標柱
顔文字のように見えますが、何を表現しているのでしょうか？
正解は…「2のマルハシ(二の丸橋)」。
読めましたか？



南櫓・北櫓
明治11年までに移築され遊郭として利用されていましたが、昭和24年に現在の位置に復元されました。(写真は遊郭にあった当時のものです。)



西虎口櫓門跡

この凹(へこ)みは何でしょう？
これは、櫓の梁を固定した凹みで、西虎口櫓門が存在していた証拠のひとつ。



百間堀(野球場と陸上競技場)
昭和2年、江戸時代に大きな堀だった場所に、地形を活かした運動場ができました。ふたつの施設は近代遺産としても知られています。



平和の鐘
昔は、上田城下町の人々に時を知らせる「時鐘」として活躍していました。昭和9年、現在地に移築されました。

上田の
観光情報は
こちら

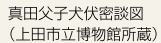


うえだトリップ
なび

武将隊の
出陣予定は
こちら



信州上田 おもてなし武将隊
真田幸村と十勇士
「おもてなし武将隊」が城内のガイドや記念写真の撮影にも気軽に応じています。
撮影の合い言葉は、
「さなだっ、じゅうゆうっ!!」

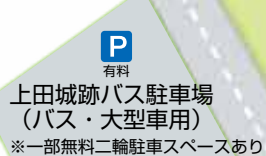
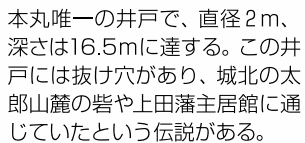
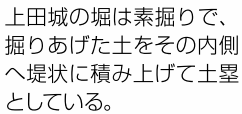


見どころ

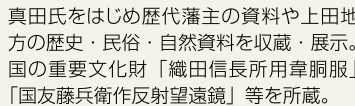
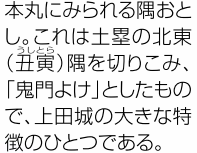
真田氏からはじまり、築城から400有余年。上田城は今もなお、訪れる人々を魅了しています。桜や新緑、紅葉など、美しい四季の移ろいとともに、戦国ロマンあふれる園内で、歴史探訪をぜひお楽しみください。

六代 松平忠周^{ただちか}
宝永3年(1706~1728)

十二代 松平忠礼
安政6年～明治2年(1859～1869)



虎口とは、城の出入口のこと。昭和24年(1949)に南櫓と北が、また平成6年(1994)に城が復元され、かつての東虎口櫓の姿がよみがえった。



休館日／水曜日(祝日にあたる場合はその翌日)・祝日の翌日・
年末年始
櫓は冬期
(11月初旬～翌3月)



喫茶コーナーが併設された1階の売店は、上田みやげを多数販売。2階は休憩スペースを設けた観光案内所。

■2階 無料休憩所・観光案内所
営業時間／9:00～18:00
9:00～17:00(冬期12月～翌2月)
TEL/0268-23-5408

※施設の情報は2025年6月現在のものです。
※臨時に開館・休館の場合あり